



Geo-Scanner LISA による船舶からのレーザスキャンニング

地層科学研究所が保有する移動体からのレーザスキャンニングユニット Geo-Scanner LISA は、ヘリや車両からの計測によって点群データを得るだけでなく、船舶に搭載して計測を行うことができます。航空レーザスキャンニングでは計測しにくい、護岸や堤防などの点群データを効率よく得ることができます。

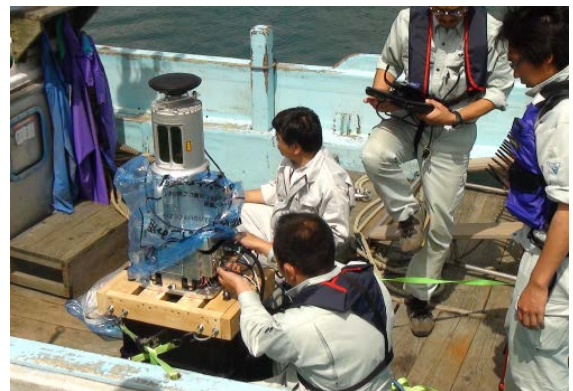
沿岸、河川構造物のレーザスキャンニング

Geo-Scanner LISA は、長距離レーザスキャナと IMU、GPS などからなる計測ユニットで、移動体から自由な形態でレーザスキャンニングを行うことができます。護岸や堤防などの構造物は、鉛直な壁を有しているため、航空機から照射されるレーザに対して角度が浅く、十分な精度で点群データを得ることができません。このような構造物に対しては、海上や河川からレーザを照射する方法が有効です。

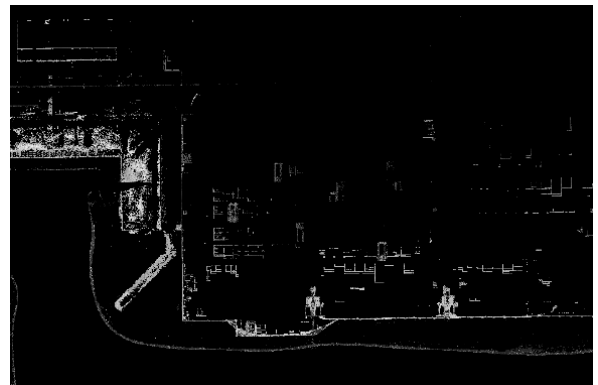
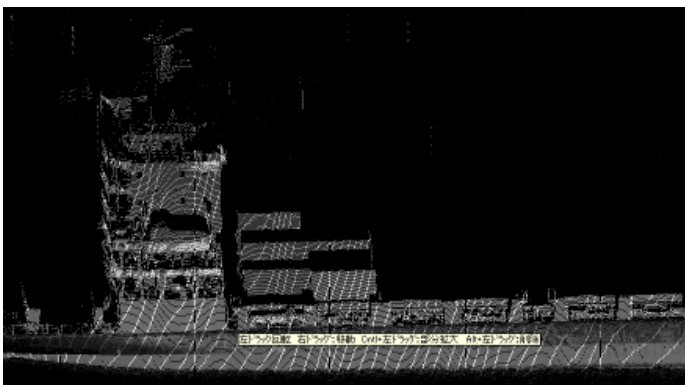
地層科学研究所では、海上からのレーザスキャンニングを実施し、±約 5cm の精度で構造物の計測が可能であることを確認しています。得られた点群データは、自社開発の Geo-Graphia (ジオグラフィア) によって処理し、構造物の形状を認識すると共に、次のような調査を可能とします。

- 複数回数の計測における差分からの、地震や豪雨などによる側方流動量の算定
- ボーリングデータなどに基づく 3次元地層モデルとのスーパーインポーズや断面図の作成

海上や河川からの計測に、是非ご活用ください。



計測準備中の様子(上)と得られた点群データ(下)



<http://www.geolab.jp> お問い合わせは chisouken@geolab.jp